



低温に注意しましょう

茶指導販売課 菊川



寒害を受けやすい茶園

先月号では寒害との対策について紹介しましたが、条件によっては被害を受けやすくなるところもあります。以下のような茶園では、特に注意が必要です。

(1) 病害虫の被害を多く受けている茶園
(2) 秋整枝後、気温上昇の影響などによって再萌芽した茶園

(3) 山間地などの標高が高く、気温が下がりやすい茶園
(4) 冷たい空気が溜まりやすい低地などの茶園

今年の12月は晴れの日が多くなりますが、例年よりもやや気温が低下する予報です。また、気温は標高が100m高くなると約0.6℃下がるといわれていますので、山間地の茶園では特に注意が必要です。

茶園観察のポイント

J A 大井川管内では例年、12月初旬に生産技術向上・情報共有などを目的に、**茶園共進会**を開催しています。その中の審査項目を一部紹介しますので、各茶園での管理を見直してみましょう。

【栽培管理】

病害虫防除・除草などは茶園を観察し適期に行いましょう。

特に整枝作業は気象状況を良く見て行うことが大切です。

【土づくり】

畠間の耕耘や有機物の施用によって排水性、保水性、通気性のよい土を作ることが大切です。

【根の生育】

根量・みずみずしさがあり、広く分布していると肥料を吸収しやすくなるため収量・品質などにも影響することがあります。